

第3号様式

平成30年度 第5回東部公民館運営審議会会議録

(平成31年4月 作成)

1. 開催日時 平成31年3月28日(木) 午後3時30分～午後5時24分
2. 開催場所 東部公民館 2階 会議室2
3. 出席者
 - (1) 委員 大塚委員長、古池副委員長、加瀬委員、岸波委員、牧野委員、吉田委員
 - (2) 事務局 東部公民館長、三田公民館長、習志野台公民館長
飯山満公民館長、薬円台公民館長、東部公民館長補佐
4. 欠席者 舟橋委員、大野委員
5. 議題
 - 公開 (1) 平成30年度 公民館事業報告(12月13日～3月31日)
 - (2) 平成31年度 経営方針及び重点目標
 - (3) 平成31年度 年間事業計画
 - 非公開 (4) その他
6. 傍聴人 なし
7. 決定事項
 - (1) 平成30年度 公民館事業報告(12月13日～3月31日) 承認
 - (2) 平成31年度 経営方針及び重点目標 承認
 - (3) 平成31年度 年間事業計画 承認
8. 議事 次ページへ
9. 特記事項 次回 4月22日(木) 午後3時30分から

問合せ先 東部公民館 電話047-477-7171

平成30年度 第5回 東部公民館運営審議会
議事録

日	時	平成31年3月28日(木)
		午後3時30分～5時24分
会	場	東部公民館 2階 会議室2

午後 3 時 3 0 分開会

○事務局（東部公民館長補佐）

それでは、定刻となりました。平成 30 年度第 5 回東部公民館運営審議会を開催いたします。本日は、年度末のお忙しい中お集りいただきまして、まことにありがとうございます。開催に先立ちまして、東部公民館長 金子よりご挨拶いたします。

○東部公民館長

皆さん、こんにちは。年度末 3 月 28 日ということで、まさに新年度に向けての準備がスタートしているところでございます。26 日の火曜日には平成 31 年第 1 回市議会定例会が閉会いたしまして、来年度予算についての議会の承認を得て、今着々と事業を進めているところでございます。また、1 日前の 3 月 25 日には 31 年 4 月 1 日付の人事異動に伴う内示がございまして、皆さん、以前より飯山満公民館長 清宮さん、薬田台公民館長 廣方さんがこの 3 月末をもって公民館を去るということをご存じのところではございましたが、そのほかにも内示が出てしまいまして、地区公民館全てが、この 4 月 1 日で総入れかえになる予定です。まだ予定です、内示ですので。ひっくり返ることはほぼありませんので、4 月 1 日の辞令交付をもって平成 31 年度新しいスタートを切るような形にはなっております。

世間は桜が開花いたしまして、今、千葉公園の満開予報が 3 月 30 日、今度の土曜日ということです。ただ、この土日は少し雨模様で寒いということですので、お花見に行かれる方は暖かい恰好をして、私は仕事なので仕事帰りにどこか眺めて帰ろうかなとは思っております。

本日も平成 30 年度最後の会議になりますので、どうか皆さんよろしく願いいたします。

○事務局（東部公民館長補佐）

続きまして、大塚委員長からご挨拶をお願いいたします。

○大塚委員長

皆さん、こんにちは。ただいま金子館長さんのほうから、当公民館として 4 館の館長さん総入れかえというお話がありましたが、最近の異動時期がある程度固まってきたなという思いもするのですが、2 年という年数は長いようで短くて、館長さんとしてはなかなか手腕が発揮されない部分もあるやに思いますが、これもサラリーマンということで異動はつきもので、いつか来ることでございます。長い間、本当にご苦労さまでした。ありがとうございました。

30 年度については、いつものとおり委員の方々も真剣に審議をし、ほかの運審はわかりませんが、自由に、そして誠意をもって討議をされたというふう感じており

ます。委員の皆さんには、本当にありがとうという気持ちで謝意を申し述べたいと思います。

話は変わりますけれども、年号が5月1日から変わるということで、今上天皇から新しく皇太子徳仁殿下が陛下になるということがございますので、一大イベント、30年たって初めて新しい時代になると思います。この年号が変わるということは、日本にとってはイベントの中でも一大行事だと思います。それに伴って人心を新たにして、新しい時代に向けて公民館も少しずつ変わっていかねばいけない時期に来ているのだろかなと思います。

皆さんもご存じのとおり、また、先ほど金子館長さんからも言われましたが、予算が通ったということです。財政計画というのが市にありますけれども、長期的に平成40年までの予算の推計が出ております。この予算の推計を見ると、予定ですけれども、最低でも31年度は約35億円のマイナスになる、年を追っていくと60億円ぐらいまでマイナスになる、というような計算になっております。今後、緊縮財政という形になりますが、我々としては船橋市の運営においてできる限り協力をするとともに、減をしなけねばいけない部分、行政の皆さんにも努力してもらおうと同時に、やはり無駄遣いをなくすということも大事なので、市長さんを初め皆さんご苦労されると思いますが、市民としてできるだけ協力をしたいなと思っております。ぜひ公民館としても、我々と一緒に新しい事業で大勢の方が集まってくれるような施策をさらに進めていかねばいけないなと思っていきますので、今後ともひとつよろしく願いいたします。

○事務局（東部公民館長補佐）

ありがとうございました。

それでは、最初に、本日の配付資料の確認をさせていただきます。

委員の皆様には事前にお送りさせていただきました緑の表紙で「平成30年度第5回東部公民館運営審議会」の冊子と総合教育センター発行の「まなびの風」を送らせていただきました。また、本日「市民の力活用事業実施報告書」薬円台公民館長宛ての船橋障がい者スポーツ協会様の実施報告です。次に平成31年度東部公民館運営審議会会議日程案を置かせていただきました。資料はよろしいでしょうか。

本日の審議会ですが、舟橋委員、大野委員から欠席の連絡を受けております。8名中6名の出席となります。船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定により、半数以上の出席がありますので、この会議が成立しますことをご報告させていただきます。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第25条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。本日、運営審議会の傍聴希望はございませんでしたので、ご報告させていただきます。

それでは、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長が議長となります。大塚委員長、議事進行をお願いいたします。

○大塚委員長

それでは、第5回の運営審議会を開催させていただきます。時間も限られておりますので、建設的に簡潔にお願いしたいと思います。本日の次第に従い進めさせていただきます。まず、次第（1）「平成30年度公民館事業報告（12月13日～3月31日）」について、ご意見、ご質問は、全部の説明を受けてから頂戴したいと思います。

初めに、東部公民館さんからお願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございます。平成30年度東部公民館事業報告（12月13日～31年3月31日）についてご説明いたします。

まず、青少年の事業でございます。「ハッピーサタデー事業」は、年間12回行った中の、9、10、11、12を記載のとおり実施いたしました。3月2日の「子ども春まつり」につきましても、前後は天候があやしい日が続きましたが、ちょうど1日の金曜日の準備のときに雨が上がり、2日は快晴となり多くの方に参加いただきまして、各種団体の協力を得てことしも盛大に実施することができました。

次に、小学生向け事業といたしまして「マジック教室」、これは毎年前原児童ホームと共催で行っている事業の一つでございます。

次に、「音楽の祭典」は、前原地区青少年の環境を良くする市民の会との共催事業になりまして、ことしで13回目を数えます。この中には、前原小合奏部、中野木小合唱部、前原中ギターマンドリン部、前原中管弦楽部のほかに前原中のPTAコーラスが前原中学校の体育館に一堂に会しまして、音楽を皆さんに奏でる催しとなりました。地域の方々が一堂に会して子供たちの演奏を見守るのはとても素晴らしい事業だと感じております。以前は東部公民館で行ったこともございましたが、やはりこれだけの規模となりますと、来年度以降も中学校ないしは小学校で輪番という形で開催できればということで、次年度も計画をしていきたいと考えております。

続いて、成人の部です。子育てサロン「ランラン」「アイアイ」「おしゃべり広場」「親子でリトミック」、以上の内容を地区社会福祉協議会及び前原児童ホーム、東部保健センターの協力を得て実施しております。

次に、「スプリングコンサート」ですが、これも毎年前原児童ホームで行う音楽会の一つでございます。やはり小さなお子様を抱えたお母さんたちは、なかなか本格的な音楽を聞くことができないということで、これも、体育室に乳母車を入れて親子一緒に鑑賞ができて、とても喜ばれたイベントでございます。

続いて、「二宮小学校家庭教育セミナー」の3回目の事業を東部公民館で実施いたしました。

次のページになります。「婚活セミナー」ですが、こちらは皆さんご存じのとおり東部公民館独自の事業でございます。今年度はバス研修を初め、ホテルでの結婚式の体験

等を行いました。こちらの評価の中に記載させていただいたのですが、今回は喜ばしいことに1組のカップルが成立しておりますので、今後吉報が届くことを担当者一同心待ちにしております。

続いて、「いけばな教室」、こちらも毎年東部地区茶華道協会さんの協力を得て行っている事業でございます。

続いて、高齢者の部になります。「福寿大学」、こちらも毎年4月と8月を除く全10回で行われるもので、今年度も多くの方々に参加いただきました。

毎年この福寿大学には150名を超える方々にお申し込みいただいております。新年度に向けて本日申込書をお渡ししたところ、80名近い方にご応募いただいております。また、年10回の事業の中で皆勤賞の方が38人いらっしゃいました。そのうちの最高齢の方が93歳です。もちろん女性でした。この講座はやはり女性の方の参加が多い中で、できれば来年度以降は、もう少し男性の方も多く参加していただくと男性の方ももっと元気になるのではないかとというふうには期待をしております。

続いて、「シニアのための応援セミナー」は記載のとおり行っておりまして、こちらも終活に向けての興味の高さがうかがえる講座となっております。

続いて、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、毎月1回、椅子に座ったままで行う体操教室となります。この事業は、今年度より健康づくり課と共催のもと、市内の公民館全館で実施しているものになります。東部公民館については、最後の3月31日の日曜日、これを最後の事業という形に位置づけております。ほかの公民館ですと毎月第1火曜、第2水曜というふうに曜日を設定しているのですが、東部公民館の場合、利用率が高く、決まった曜日の決まった時間をとってしまいますと利用者が大変不便になるということで、毎月最終週、最後の日であると比較的5週が多いものですから、利用者も少ないところを狙っての設定をさせていただいております。

続いて、その他です。こちらは、「子ども春まつり実行委員会」を3回実施しております。

続いて、「津田沼今昔写真展」も今年度で5回目を数えるのですが、昨年度と趣向を変えまして、近隣の千葉工業大学の学生さんにボランティアとしてご協力いただきまして、現在の写真撮影と展示、企画等も参加いただきました。これは大学のボランティアとしての単位が認められるということで、多くの方の協力をいただきました。また、大学生は船橋に住んでいる方はほぼいらっしゃらなく、近隣の市町村から船橋の千工大に通われていますので、船橋を知ってもらうためのいいきっかけになったとも感じております。

続いて、「卓球開放」については、記載のとおり実施いたしました。

「地域ふれあいコンサート」、こちらも文化課が行っています音楽月間にちなんだ事業の一つでございます。東部では、尺八、ピアノ、パーカッション、ふだん一緒に演奏

することは考えられない3つの楽器で行いました。皆さんも、尺八、ピアノ、パーカッションがいかにかラボするのを楽しみにしている様子がうかがえました。今回はちょっと広報掲載について問題がありまして、来年度以降は広報の仕方についてもう一度工夫をしたいというふうに考えております。

団体支援事業については、「東部公民館区老人クラブ連絡協議会」「子ども日本語教室」等々を行いました。

東部公民館からの報告は以上になります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、三田公民館さん、お願いいたします。

○三田公民館長

それでは、三田公民館の平成30年12月13日から平成31年3月31日まで、三田公民館は3月27日をもって平成30年度の全ての事業が完了しておりますが、3月31日まで実施した事業についてご報告をいたします。

まず、「ハッピーサタデー事業」ですけれども、12月15日に「おもちつき大会」、1月19日に「お正月遊びとめずらしいスポーツ」、2月16日に「子どもまつり」、3月16日に「和菓子づくり」を行いました。

「おもちつき大会」につきましては、指導をお願いしました青少年相談員さんにも衛生管理を十分注意していただき、子供たちもおもちをつく順番など行儀よく並んで待っていてくれたりしましたので、事故なく無事に終了することができました。

3月16日の「和菓子づくり」は、受付直後に定員に達しました。当日はねりきりで桜、きんとんで菜の花の形のお菓子をつくっております。講師の手ほどきを受けながら、子供たちはなかなか上手に形をつくっており、満足げな様子が伝わってまいりました。

別掲しました2月16日の「子どもまつり」ですが、毎年人気のあるプラバンやペンシルバルーンなどに多くの子どもが集まり、思い思いに作品をつくって楽しんでおりました。

次に、成人の教育です。1月25日と2月7日に、「家庭教育セミナー」全3回のうちの2回目と3回目を実施しております。2回目は、子供のネットトラブルを防ぐための対策ということで保護者の関心も高かったのですが、保護者がインフルエンザに罹患した方が続出しまして、参加人数は8人という残念な結果となっております。

次の「歴史講座」につきましては、ことしの大河ドラマの舞台であります近現代の日本について、配付資料を見ながら時代背景や流行などの講話をしていただき、参加した方は興味深げに耳を傾けておりました。

続きまして、次のページの高齢者の教育です。「三田寿大学」を記載のとおり実施しております。今年度は皆勤の方が昨年度より9名増えて42名となりました。多少のばら

つきはありましたけれども毎回 90 人程度の出席がありまして、申し込み人数は 143 名でしたけれども、その申し込み人数に対する出席率は 60%台後半という結果となっております。

次の健康づくり課と共催しました「認知症予防教室」と次ページの「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」ですけれども、こちらは高齢者の方が元気であるための知識の習得、無理なく体を動かすためのよいきっかけづくりとなりました。

次に、おひさまクラブは、29 年度まで 3 カ月～1 歳の子と 1 歳～2 歳の子ということで 2 クラスに分けて行っていたものを、30 年度から 1 つのおひさまクラブということで実施しました。29 年度の 2 つのクラスの合計の延べ人数が 491 人だったのですが、今年度初めてとなる「おひさまクラブ」は延べ人数が 922 人と倍増以上の結果を得ることができましたので、来年度以降も 1 クラス編成で、やはり月齢や年齢が違くとそれぞれ自由気ままにうまく分かれて遊んでおりますので、小さい子がけがをするといったこともありませんでしたし、お母さん方も先輩のお母さんから意見を聞いたり相談したりして、最終日には連絡先を交換してまた会いましょうというような光景も見られましたので、結果としては成功だったのではないかと考えております。

最後に、「三田ふれあいコンサート」です。タイトルの「Que Aleguria」は、スペイン語で「何という喜びでしょう」というような意味だそうです。「Que Aleguria! ～春を迎えに、踊ろう、歌おう、行こう、情熱の在処へ～」というタイトルで、資料のほうに役所のパソコンの関係で正確にスペイン語の表示ができていないのですが、正確に表示すると、「Que」の「e」の上にアセントという記号が入ります。それから、「Aleguria」の最後の「i」の上が丸ではなくてアセントという記号となります。「Qué Alegría」それが正確なスペイン語の表示だということです。

こちらのふれあいコンサートは、3 月 2 日に三山市民センターを舞台にフラメンコの公演を行っております。申し込み開始から例年にない早い段階で定員の 150 名に達しまして、当日も 9 割近くの方が来場していただき、例年以上に大変盛り上がりました。来場者の方にご記入をお願いしたアンケートでも、「踊り、歌、ギターに圧倒され、とても感動した」「とてもよかった」という感想を多くいただき、非常に満足度の高いコンサートを行うことができたと思っております。

三田公民館のご報告は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

それでは、平成 30 年 12 月 13 日から 3 月現在までの習志野台公民館の事業報告をご説明させていただきます。

まず、青少年向けの事業でございますが、「ハッピーサタデー事業」につきましては、1月にガールスカウト千葉県第30団のご協力によりまして、茶道体験を行いました。大変貴重な体験ができて、子供たちは喜んでいたように見えました。

2月に「こどもまつり」を実施いたしまして、どのコーナーも子供たちが楽しめるようにそれぞれ工夫されておりましたので、とてもよかったのかと思っております。

3月は、児童ホームにてハンドベルコンサートを実施いたしました。今後も実行委員会と力を合わせて、ハッピーサタデー事業を子供たちの視点に基づいて計画していきたいと思っております。

次に、初めて取り組む講座といたしまして「次世代スポーツ講座」を実施いたしました。習志野台公民館管区には3つの小学校がございまして、その3つの小学校を対象といたしまして「ワンランクアップのバスケットを目指そう！」ということで、千葉ジェッツふなばしの協力を仰ぎまして、元プロ選手からの指導を受けて、真剣な子供たちのまなざしがとても印象的でした。この講座が生かされたのかもしれませんが、この後、習志野台第二小学校の男子が千葉県大会を制しまして、本日から全国大会で、今現在、群馬で頑張っているというご報告をいただいております。

次に、習志野台中学校におきまして1年生を対象としたさまざまな職業の講師7名を招いて「職業講演会」を実施いたしました。子供たちは熱心に講師の話に耳を傾けておりまして、将来に向けて役立ててもらえたらと思っております。

次に、「もうすぐバレンタインデー！プレゼント大作戦」と題しまして、アイシングクッキーづくりを実施いたしました。子供たちの思い思いのデザインを集中してクッキーに描いて、とても楽しい雰囲気でした。

次に、成人向け事業といたしましては、「ランチとケーキの美味しい時間」、こちらに関してはクリスマスケーキづくりを実施いたしました。残念ながら定員には満たなかったのですが、和やかな雰囲気の中で実習を行い、大変おいしくケーキをいただきました。

次に、歴史講座としまして「はじめての日本刀講座」でございますが、最近は刀剣女子というのがブームになっているせいか、募集と同時に定員がいっぱいになってしましまして、刀に対しての初歩的な知識を身につけることができました。本当に大変貴重な講座ということで参加者のほうからはお話を伺っております。

次に、習台ときめき講座としまして、「習台恋する百人一首」を生涯学習コーディネーターとの協働により実施いたしました。恋の歌を中心に、その時代の生活の様子や習慣などを興味深く聞くことができたと思っております。

次に、高齢者向けの事業でございますが、「習志野台寿大学」を4回実施いたしました。どの事業も好評ではあったのですが、各回とも登録の6～7割程度の参加者であった関係で、今後も登録者がより多く参加できるように内容を精査するとともに、生きが

いを感じてもらえるような役割ができればと考えております。なお、1年間を通じての皆勤賞として32名の方々が賞品をいただきました。

次に、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」におきましては、健康づくり課との共催によりまして4回実施いたしました。どこでも男性参加者が少ないというふうに向っているのですが、うちでもやはり男性参加者が少ないようです。

次に、「ハッピーサロン」に関しましては、福祉団体フキのとうさんとの共催によりまして、高齢者の方々の貴重な集いの場としてメンバーは定着しているのですが、情報交換の貴重な場として継続していきたいと考えております。

次に、「シニア向けスマートフォン講座」でございますが、これは近隣にお住まいの高齢者を対象とし実施いたしました。講師のわかりやすい説明によりまして、参加者からはとても好評でございました。今後も続けていければと思っております。

次に、「習老協支援事業」としまして、1月に新年祝賀会・芸能交歓会がございました。高齢者が元気に歌や踊りを楽しむ姿が見られまして、今後も地域の高齢者の生きがいを推進するために支援を続けていければと思っております。

その他の事業といたしましては、習志野台ライブ実行委員会との共催によりまして、3月9日に「地域ふれあいコンサート『ファミリーサウンド～春風にのせて～』」を実施いたしました。地域住民の方々に気軽に質の高い音楽をとということで、あまり生で聞くことができないアコーディオンの音色に山岡さんファミリーの温かい雰囲気加わりまして、会場は大変盛り上がり、とても好評でございました。

次に、「落語会」を東図書館との共催により実施いたしました。予想よりも大変多くの応募がございまして、抽選により来ていただいたのですが、来られなかった方からはとても残念だということで、ぜひまたやってほしいという話が電話で何回かございました。地元船橋出身の立川談修さんの落語を堪能させていただきました。

ほかに、定例化しております「おもちゃの病院」「将棋開放」「卓球開放」「赤ちゃん一むキラキラ～育児相談～」は、それぞれ好評でございまして、次年度以降も継続する予定で考えております。

簡単ではございますが、習志野台は以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、飯山満公民館さん、お願いします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館の平成30年12月13日から平成31年3月31日までの事業報告をさせていただきます。

まず、青少年事業の「ハッピーサタデー事業」でございますが、全12回のうちの残り4回を記載のとおり実施いたしました。実行委員会の各団体のご協力により、4月の仲

間づくりから誰でも気軽に体験できる軽スポーツ、クリスマスリースづくりやお菓子づくりなど、さまざまな体験により参加者は毎回楽しい時間を過ごすことができました。8月のデイキャンプでは中学生ボランティアの参加もございまして、異年齢交流の場ともなりました。

次に、「第35回はさま子供まつり」でございますが、恒例となりました市立船橋高校サッカー部による子供サッカー教室を実施したほか、公民館では近隣の小中高等学校児童生徒の作品展示を初め、地域の各団体のご協力によるさまざまな遊び体験や模擬店など盛りだくさんの内容でございましたので、大勢の子供でにぎわい、参加者同士の交流も図られ、大盛況でございました。

次の「冬休みお絵かき教室」は、記載のとおり実施いたしました。

次のページに参りまして、「書き初め教室」は今年度の新規事業でございます。冬休みの宿題応援企画といたしまして小学校4年生以上を対象に実施いたしました。申し込み初日で定員に達し、当日も参加者全員が最後まで集中し、一生懸命取り組みました。学年別にお題が違いため、書き方の講義を行い、東葉高等学校書道部の皆さんの的確なサポートで、全員が宿題として提出できるレベルまで仕上げることができました。

次の、飯山満児童ホームとの共催事業でございます「ダブルタッチ教室」、それから、「スプリングフェスタ」では、ジャグリングを記載のとおり実施いたしました。両方とも子供たちに体験をしていただき、なかなかできない体験を指導により楽しんでいただくことができました。参加者も徐々に上達してできるようになり、笑顔あふれるひとときとなりました。

次に、成人事業でございます。「飯山満公民館本館家庭教育セミナー」でございますが、「家族が一番！」をテーマに子供と保護者が一緒に体験学習し、心豊かな家庭教育の充実に寄与することを目的といたしまして実施いたしました。1回目は親子で楽しむスケッチとして、早書きや一筆書きでマイブックスケッチをつくり、2回目は親子で練り切り体験ということで、和菓子のねりきりで赤鬼と青鬼、そして、虎のパンツをつくりました。どちらも個性あふれる作品ができ上がり、参加者親子は大変満足しておりました。3回目は親子に限定せずご家族でご参加いただきたいと思い、元プロ野球選手で船橋ご出身の林昌範氏を講師にお招きし、「野球から得た親子の絆」というテーマで講演会を実施いたしました。当日は思ったほど参加者が集まりませんでした。実体験に基づいた母と子の絆、プロ野球選手になって親身に指導して下さった、いわば育ての親との絆、そして、最後はご自身の子育てのお話をしていただき、時には参加者の涙を誘う場面もございました。また、質疑応答では、高齢者世代の方から小学生のお子さんを持つ若いお父さんまで数多くのご質問に丁寧に答えていただき、実施いたしましたアンケートでは、3分の2の方が「大変よかった」、残り3分の1の方が「よかった」との回答で、好評価をいただきました。心にしみるお話で家庭教育セミナーを締めくくる

のにふさわしい講演会でした。当日は、岸波委員と廣方館長もご参加いただきました。ありがとうございました。

次に、「初歩の庭木剪定入門講習会」でございますが、こちらも人気の高い講座のため昨年度より年2回の実施で、2回目は初心者を対象とさせていただいておりますが、寒い時期にもかかわらず市内一円からお申し込みをいただき、初日で定員に達するほどでした。初めて飯山満公民館を利用されるという方が7割以上を占めて、これからほかの講座にもご参加いただきますようお願いしたところでございます。

女性事業でございます。「ゆびとまサロン」は、第2月曜コース、第3月曜コースを記載のとおり実施いたしました。

次のページにまいりまして高齢者事業でございます。「飯山満寿大学」は、全10回のうちの残り4回を実施いたしました。12月19日のバス研修は、とても人気でございますが、ふだんご自分ではなかなか行かない筑波宇宙センター、エキスポセンターなどを見学し、好評でした。新年を迎え1月16日は、市制記録映画の鑑賞と新年懇親会でさらに交流を深め、また、2月20日のピアノとソプラノによるミニコンサートでは、プロの歌声に心豊かな気分を味わうことができました。最後の健康講座では、おなかの仕組みと腸の大切さについて、布製の模型を使って楽しく学んでいただきました。実施いたしましたアンケートでは、「大変満足」と「満足」が95%を占め、皆さん1年間お元気に学びと交流ができました。申し込みは全体で134名でしたが、皆勤賞は30名でした。年10回という長い期間でございましたが、30名の皆勤賞は今までで一番多い人数でございました。

次の「シルバー蕎麦打ち教室」につきましては、記載のとおり実施いたしました。

最後に、その他事業の「防災・減災研修会」でございますが、二宮・飯山満地区町会連合会との共催事業といたしまして、東日本大震災でご自身も津波にのまれながらも生還された、岩手県釜石市の旅館「宝来館」のおかみでございます岩崎昭子氏を講師としてお招きいたしました。津波からの生還から旅館を避難場所として機能させた生き様と、被災地の復興、ラグビーワールドカップの誘致への取り組みなどをお話しいただき、震災時の様子をお話しされたときは、津波を体験された方でないとわからない細かな状況やそのときの心情を実際の映像を見ながら淡々と明るくお話しされる姿に、感動するとともに涙する参加者も多く、こちらも実施したアンケートでは90%以上の方から「大変満足」「満足」をいただき、説得力のある大変有意義な研修会となりました。

飯山満公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

最後に、薬田台公民館さん、お願いします。

○薬田台公民館長

30年12月13日から31年3月31日までの事業をご報告いたします。

まず、青少年教育です。「ハッピーサタデー推進事業」は、記載のとおりに終了いたしました。3月3日の子どもまつりでは、古池委員、牧野委員には大変お世話になりました。その子どもまつりは雨模様だったにもかかわらず、延べ人数ではごらんとおりの参加者数を得ることができました。昨年は3,979人で、約15%減にとどめることができました。

次に、「子どもミュージカル」も記載のとおりです。和やかな雰囲気の中で終了いたしました。

「学社連携事業 クラブ活動支援事業」についても記載のとおりで、学校教育と社会教育の連携を進めることができました。発表の場を校長先生からいただき、昼休憩の時間、講堂で披露いたしました。あいにく私は小学校に出向くことができませんでしたが、担当から、見学は自由だったにもかかわらず、たくさんの児童が集まっていたとの報告を受けています。今後も学者連携・学校支援を続けていきたいと考えています。

次に、成人教育「市民の力活用事業」です。お手元の報告書もあわせてごらんいただければ幸いです。今年度は4年目4回目の実施になります。毎年違う種目を取り入れて実施しています。初年度は障害者アーチェリー、2年目はボッチャ、3年目はシッティングバレーボールとボッチャ、そして今年度は、車椅子バスケット、ボッチャ、ゴールボールを実施しました。2020オリンピック・パラリンピックの報道の高まりの中、この「市民の力活用事業 2019 パラスポーツを楽しもう！体験会」についても年々盛り上がりを感じています。来年度についても船橋障がい者スポーツ協会の高橋会長さんから打診をいただいております。少しでもパラスポーツに貢献できればと考えています。31年度の提案の提出があった際には、またご審議をお願いいたします。

なお、写真に写っているように、子供たちが車椅子バスケットの車椅子に乗って操作し、結構はしゃいでおりました。集合写真を含めた顔写真の取り扱いについては十分配慮をしていることを申し添えます。

次に、高齢者教育の「やくえんだい福寿大学」です。今年度も記載のとおりコンスタントな参加者数を得ることができました。アンケートも、「毎回楽しみに参加しています」や「内容がみんなよいです」など、高い評価を得ることができました。来年度はさらに充実した内容を企画運営委員とともに考えています。

次に、「介護予防事業『かんたん・脳トレ教室』」についても記載のとおりです。来年度も健康づくり課と力を合わせて、健康寿命延伸に努めたいと考えています。

「ふなばしシルバーリハビリ体操体験教室」も、残すところ、あした3月29日の1回のみになりました。私ども薬田台公民館も、先ほどご報告がありました東部公民館と同じように、最終週で曜日を固定しないで実施中でございます。初級指導士さんたちの積極的、前向きな姿勢が参加者にも伝わるのか、毎回和気あいあいの中にも熱気が感じら

れています。初級指導士さんのミーティングも熱を帯びています。もちろん、地域の高齢者が地域の高齢者に体操を教えているため、過激な運動は避けていることを申し添えます。習志野台公民館の関根館長がご報告いただきましたが、薬田台公民館でも男性の参加者が少なく、最終回のみ7名の参加がありました。初級指導士さんたちは男性が多いのですが、一般参加者については少なくなっています。こちらも健康寿命延伸のため開催しています。

その他として、「ふなばし音楽フェスティバル」の一つとして実施した「薬田台ふれあいコンサート」は、記載のとおり満足度の高いコンサートとなり、アンケートも高い評価を得ることができました。来年度は、出演者の人選についても、地域の音楽家を発掘することを視野に入れて実行委員会で検討していこうと考えています。

次の「カンガルーぼっけ」も記載のとおり終了いたしました。災害を想定して子育て中の母親たちに安心して子育てができるよう、初めて今年度「子育て中の防災」をテーマに2回講座を実施いたしました。その後、貴重な体験談を聞くことができ、大変参考になりました。

「消防訓練」については、PRを強化することで参加者を増やし、地域の防災意識を高めていきたいと考えています。

「地域緑化支援事業」については、薬田台駅前と踏切の花壇、通行する際にはごらんいただければ幸いです。

以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、5館の皆さんから報告をいただきましたので、委員の皆さんからご質問がありましたらお願いをいたします。

○加瀬委員

東部公民館さん、「婚活セミナー」を今まで何回かやられていると思うのですが、おめでたい話というのはまだないですか。

○東部公民館長

一組だけあります。今年度もカップルは成立しているようですので、この後はどうかというのを、今、報告を心から待っております。

○加瀬委員

ぜひ、まとまってほしいですね。

○東部公民館長

はい。

○加瀬委員

ありがとうございます。

○大塚委員長

ほかにございませんか。どうでしょうか。

では、私のほうから。東部公民館さん、7/7のところですけども、カラオケ大会で120名という人数があるのですが、この120名のカラオケ大会は、どういうやり方になっているのでしょうか。

○東部公民館長

これは、もちろん参加する方はたしか60名までもいなかったと思うのですが、見に来たお客さんも含めた人数になっています。

○大塚委員長

びっくりしました。120名のカラオケ大会ってどうなるのかなと思って。そういうことですね。見学者もいたということですね。わかりました。

○東部公民館長

通信カラオケ機器を会場に持ち込みまして、画面のモニターを見ながら歌が歌えるということで、以前はカセットテープで歌詞カードを見ずに暗記する苦労があったということですが、このカラオケマシンを使うことによって、私も出たい、私も出たいと、お恥ずかしい話、東部公民館の職員も一緒に参加させていただきました。

○大塚委員長

三田公民館さん、人数は大変少ないのですが、2/6のところですよ。スマゲの依存症とかいろいろあって、今の親子関係だとか子供の教育を考えたときに、このまま行くといろんな意味で社会にいろいろな問題が出てくるだろうなとちょっと心配するんですよ。募集の時期だとか説明の仕方だとかいろいろな部分がありますが、やっぱりこういうまじめな事業も継続して公民館がやる仕事ではないかなと思っています。逆に言えば、警察の人だとか指導員さんだとか、いろんな方々がいっぱいいらっしゃると思います。継続してやるために公民館さんの中でいろいろ検討していただければありがたいなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○三田公民館長

今回は8人だったのですが、当初20人参加予定で、12人がインフルエンザで出てこられなくなったということだったので、保護者の方にも健康管理を注意していただけるようお願いしたいと思います。

○大塚委員長

見方が変かもしれませんけれども、何でもイエスというふうに親御さんが言うてしまうと、ご存じかもしれませんけれども、社会人になってから、ちょっとしたことですぐひきこもりだとか、いろいろ問題化しています。やっぱり保護者がいる間に辛いことに耐えろとか、そういうことをやらないと、成人になったときにちょっと打たれたらそれでだめになってしまうという状態が結構多いのではないかと危惧します。今、学校教育

でそれをやるといってもなかなか難しい状況なものですから、いろんなところで少しずつ協力してやらないと、50年、100年たったときにちょっと心配だなと思います。そこが公民館の皆さんのお力なので、よろしく願いいたします。

それから、習志野台公民館さんの2/6のところですか。すごくいいなと思うのは、百人一首のところ「習志野恋する百人一首」というのがありますね。やはりネーミングなんかはすごく大事だなと思うんですね。キャッチコピーって今すごく必要なところですよ。だから、その辺は大変いいなと思います。真面目なネーミングでもいいけれども、やっぱり見るほうが食いつくようなネーミングもひとつあるのかなと思います。これは私の個人意見ですから、どう捉えるかは別ですが、意見としておはなししました。

○習志野台公民館長

大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

○大塚委員長

それと、薬円台さん、「市民の力活用事業」ですが、この活用事業の部分については2020年のオリンピックということでやるわけですよ。そうすると2019年というのは、まだ周知なのか、それとも次のステップまで行くのかどうかというのが一つあります。その辺がイメージとしてまだ湧かないですけれども、一応オリンピックが始まる2020年が一つの区切りだと思っています。その辺がちょっと見えないので、どういうふうな方向でいくのかなと。

○薬円台公民館長

まだ高橋会長と詳細までは詰めておりませんが、一応、場所をとる関係で秋口に考えています。あと、詳細については打ち合わせしていませんので、今後そのような形で考えていきたいと思っています。

○大塚委員長

慣れてくると少しずつ変わってくる可能性もあるので、その辺を注意して見ていただければありがたいなと思います。

○加瀬委員

今回、生涯スポーツ課でボッチャを買ったんです。基幹館にワンセットずつ来るんです。あと、生涯スポーツ課でも何組か持っていて、貸出をずっと言っていました。

○牧野委員

先ほども薬円台公民館の廣方さんに言っていただきましたけれども、子どもまつりのときにはお邪魔しました。その後に、七林中学校の生徒さんに来ていただきました。事前に1、2年生に呼びかけをしまして、雪合戦の審判をやってくださいと声かけをしたら2名出てきてくれまして、このときに一緒に審判をずっとやってくださいました。そのことが七中の七中だよりのほうに載っておりまして、いろいろな経緯から何から載せていただいておりますので、お知らせいたします。

○薬田台公民館長

ありがとうございます。

○牧野委員

それと、「市民の力活用事業」に関係するのかどうか、ちょうど七林小学校の体育館を通ることがありまして、そうしたらシッティングバレーボールをやっていたので、そういうのも使えるのかなど。学校のほうでパラスポーツを取り入れましようということになっているのかわからないのですが、そういうこともやっているのだなと思って見てきました。

○大塚委員長

シッティングバレーボールも、見ている分には簡単そうだけれども、実際にはなかなか難しいみたいですよ。ボールも重いし。

○牧野委員

体を動かすのは大変ですよ。

○大塚委員長

ありがとうございます。

ほかにご意見ないでしょうか。

では、ご意見が出尽くしたようなので、5公民館さんの事業報告について採決をとらせていただきます。

5公民館さん一括してご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

ありがとうございます。全会一致でございます。

次に、次第(2)「平成31年度経営方針及び重点目標」をご報告いただくのですが、次第(3)「平成31年年間事業計画」も関連がありますので、(2)番と(3)番を一緒にご説明いただくことにしますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、初めに、東部公民館さんからお願いいたします。

○東部公民館長

それでは、東部公民館より平成31年度事業計画等についてご説明させていただきます。

まず、経営方針のほうですが、今現在、「船橋市総合計画後期基本計画」「船橋市教育大綱」「船橋の教育」及び「第二次船橋市生涯学習基本構想・推進計画」等々の計画にのっとりた形での事業展開を行っております。今現在、「生涯学習基本構想・推進計画」第三次計画の策定に向けて、来年度、再来年度の2年をかけて社会教育課及び生涯学習施設において進めております。それまでの間、第二次計画にのっとりた形での経営方針を貫いていくということと、あわせて、冒頭に説明させていただきましたが、東部公民館の地区公民館全ての館長さんが新しくなるということで、特に31年度については

地区公民館のバックアップ支援を強めていかなければならないと感じております。

続いて、重点目標ですが、こちらは船橋松戸徹市長の年頭にもありましたが「接遇日本一」、これを引き続き公民館の窓口で実践していきます。

そして、(2)番目、青少年向け事業につきましては、今年度同様に各団体等の連携を深めながら、子供たちが主体的に生きていくための力を育むということをねらいとして行っています。

次のページのA3の紙の中で、青少年事業について触れさせていただきます。

31年度は、まずNo.1のところに○印がついています。「こどもプログラミング教室」は、千葉工業大学との連携による事業ということで、今現在、詳細を詰めているところでございます。

また、千葉工業大学との連携につきましては、先ほど事業報告の中でお話ししました「津田沼今昔写真展」、こちらも年度初めより企画・運営を進めていきたいと考えております。

また、千葉工業大学の工学知識を生かした事業を福寿大学の中でも取り入れて、カリキュラムの中に入れていきたいというふうには考えております。

集会活動No.21の「子ども春まつり」、こちらは毎年3月の第1土曜日に予定しておりましたが、ここ1週間以内に、前原児童ホームに隣接する二宮保育園さんのほうから来年度はどうしても3月7日に卒園式を行いたいというお話がございまして、ここにご協力いただける団体の皆様に確認したところ、2月の最後の土曜日でも可能だというお話をいただきましたので、日程を2月29日の土曜日に、この場をかりて変更をお知らせさせていただきたいと思っております。そうすることによって、二宮保育園を卒園する方たちも前の週に地域のお祭りに参加できるのではないかとということで、来年度については特別に日程の変更をさせていただきたいと考えております。

続いて、(3)番目です。家庭教育の向上及び子育て支援事業につきましては、今現在も、古池委員さん、舟橋委員さん、牧野委員さんのお力をかりまして進めている家庭教育支援チーム、こちらを重点的に力を入れていきたいと考えております。今現在、市内でこの事業を行っているのは恐らく東部公民館だけであろうということで、教育委員会の社会教育課も、この活動を市内全域に広めていきたいという意向があるということです。古池委員、舟橋委員、牧野委員さんにおかれましては、この点についても協力をしていただきたいというふうに、この場をかりてお願いいたします。

事業につきましては、もちろん東部公民館独自で行っています「子育てフェスタ」、こちらは第8回目になります。またこれにつきましても、今後、計画等々、企画等々、ご協力をお願いしたいと考えております。

続いて、成人事業につきましては、計画一覧表の中にあります、まずは「環境講座」、こちらは環境問題について毎年テーマを変えて実際に取り組んでおります。5月からの

実施となりますが、今現在、自然災害をテーマに取り上げて、バス研修を含めて4回の講座を考えております。平成は自然災害の時代だと言われておりますので、来年度もそういう形で災害についての勉強を深めようと考えております。

その他、今年度より前原小学校との学社連携について計画を進めていましたが、30年度については実施には至っておりませんでした。31年度から、ここでいう学級講座の9番目、「前原小学校PTA家庭教育セミナー」を前原小学校のPTAさんとともに実施したいという学校側からの依頼がございましたので、31年度はこの家庭教育セミナーについても前原小学校で展開していこうと考えております。

その他としまして、高齢者事業につきましては、引き続き、福寿大学等とシニア事業についても広く行っていきますが、今回、高齢者向けとしての新しい事業は特にはございませんが、今年度に引き続きスマートフォンの講座を、高齢者にもスマートフォンを活用していただいて、生活を豊かにしてもらおうということでの企画がございます。

最後に、重点目標の(6)番目になりますが、東部公民館は各種団体との共催、協働で行う事業は数多くございます。やはり地域の問題を解決するためには地域の方々と企画・運営の段階から一緒になって考えていくことが必要だと捉えております。

4番目のスローガンのところは、東部公民館は昨年度と変更させていただきました。公民館はこれから「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の拠点となる施設になろうということで、31年のスローガンを職員みんなで、こうしていこうというふうに決めさせていただいております。

簡単ではございますが、東部公民館の31年度の事業計画等についての説明をさせていただきます。

以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、三田公民館さん、お願いいたします。

○三田公民館長

三田公民館の平成31年度の経営方針、重点目標、年間事業計画等についてご説明をいたします。

まず、2番の経営方針としましては、社会教育法の理念ですとか、本市各種計画に基づきながら多様な学習機会をそれぞれの世代に提供していこう。それから、学校等との連携も図っていきたいと考えております。気軽に立ち寄っていただけるような人と人とのつながりを感じられる身近な公民館を目指していきたいと考えて、このような経営方針を設定しております。

3番の重点目標は8点挙げておりますけれども、(1)は接遇について、(2)から(6)は各世代へ向けた事業の充実について、(7)が公民館を利用する団体への支援

について、(8)については施設の保全等についてということで、それぞれ挙げております。それぞれの目標に向けて職員の意識、各事業の企画立案の内容、地域をより活性化させるための貢献度などを向上していくことができるような目標にしようと、こういった目標を設定し、取り組んでまいりたいと考えております。

4番のスローガンですが、こちらは平成30年度に引き続き「目指せ！地域の『HUB』」ということにしております。2番の経営方針とも関係しますけれども、公民館が地域の拠点として存在し、学校や各関係団体と連携協力して地域や人をつなぎ元気にする役割を果たすことが必要だろうということで、大分理想的で大きな目標になっているかもしれませんが、このスローガンで行こうということで館内のほうで決定しております。

続きまして、次のページのA3の31年度三田公民館事業計画の一覧についてご説明いたします。

最初に、31年の新規事業の4つをご説明いたします。「○」のついているものになります。

まず、8番の「語学講座」は、来年の東京オリンピック開催に伴いまして外国からのお客様の増加が見込まれておりますので、外国人の方と触れ合う機会も増えるのではないかとということで企画しております。ほかの公民館でも多く行われている事業だとは思いますが、それらも参考にしながら、どのように実施をしていくか検討しております。

次に、14番の「夏休み子ども職業体験」です。こちらは日ごろからお付き合いさせていただいております東邦大学の講師の方からご提案をいただいて企画したものです。こちらにつきましては、大学の協力がなければ体験できないようなレベルの職業体験にしようということで、講師の方と詳細をこれからどんどん詰めていく予定となっております。

次に、16番の「いきいき健康講座」、こちらも東邦大学との共催事業となります。これはもともと東邦大学東邦ボランティア部の学生さんが別の施設で開催していた事業ですが、地域住民の皆様の参加を促すために、事業計画には掲載せずに29年度から三田公民館で行ってまいりました。毎回こちらの学生さんが考えたテーマで学習してまいりまして、学社連携も図れるという意味も含めて31年度から計画に掲載して正式な事業としてやっていこうというふうになったものです。

次に、26番の「三田老協ペタンク大会」ですけれども、こちらは三田公民館区老人クラブ連絡協議会と共催で室内ペタンクを行うというものになります。

続きまして、31年度が目玉事業が、9番の「魅力UPセミナー」となります。30年度はこちらの魅力UPセミナーを、東部公民館を会場に年齢制限も設けて実施したということで以前ご報告差し上げておりますが、31年度は会場を三田公民館、年齢制限もなし

に募集をしたいと思います。30年度の内容につきましては、参加した方から好評なご意見をいただきました。年齢制限を設けたことでご参加できなかった方からも参加したいというご意見が多くありましたので、目玉事業として年齢制限を撤廃して行いたいと思っております。

最後に、5番と6番の「三田セミナー」です。こちらの表上では前期と後期に分けて計画しておりますが、31年度につきましては、「健康」を統一のテーマとして1年間さまざまな角度から健康にアプローチしてみようかということで、生涯学習コーディネーターさんと打ち合わせを重ねております。内容的には、森林浴、運動、それから、漢方やサプリ、笑い、あとは発酵食品。発酵食品につきましては、先日テレビ東京さんの「アド街ック天国」で亀戸が紹介されたときに出ておりましたが、佐野みそ亀戸本店さんから社員の方にいらしていただいてご指導いただけるというところまで話が進んでおります。あとは血流ですとか、いろいろな方面から「健康」をテーマにやっっていこうということで企画をしております。

また、文化祭、子どもまつり、寿大学など、その他の事業につきましても、例年どおり工夫をしながらよい企画を考えて、参加者の皆様に楽しんでいただけるように実施していこうと思っております。

三田公民館は以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、習志野台公民館さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

それでは、平成31年度経営方針及び重点目標、年間事業計画についてご説明させていただきます。

まず、経営方針及び重点目標につきましては、各公民館そんなに大差はないかなというところで、すみません、割愛させていただきます。ただ、重点目標の中で(6)番の「地域とのつながりや交流の場として活用されるように」ということで、東部ブロック館内ではうちの唯一の利点として、同じ施設内に東図書館がございますので、その東図書館と友好的な関係を築きながら連携を密にして地域のために工夫して事業を行っていきたい。それがうちの特色でありますので、その辺を強く前面に出してやっていきたいと考えております。

4番のスローガンに関しましては、うちの公民館のキーワードとしましては「笑顔」ということで、昨年も似たような感じでしたが、笑う門には福来る、地域の方々の笑顔、対応する職員も笑顔ということで、うちの公民館は笑顔を大切に、笑顔あふれる公民館を目指して習志野台地域の活性化を図っていききたいと考えております。

続きまして、2枚目の事業計画でございますが、まず平成31年度目玉事業といたしま

しては、2番にあります「こども将棋教室&大会」です。こちらを目玉事業ということで考えております。昨年も実施したところ、あっという間に募集も埋まってしまいました。大会も勝ち負けにこだわり、負けた子は悔しそうに、勝った子はガッツポーズをするような感じでやっていたのですが、先生からはそのガッツポーズを、「将棋というのは日本古来のもので、ガッツポーズをするものじゃないよ」ということを教えてもらったり、そういうことで日本古来の競技として礼儀というものを重んじて、こういったものを子供たちに養っていただきたいと思って、この事業を目玉事業といたしました。

目玉事業ではないですが、17番「次世代ステップアップ講座」は、平成30年度はバスケットを挙げていましたが、31年度に関しましてはスポーツに限らず、例えば音楽でもいいし、何か一つステップアップできるものを考えて子供たちに提供できればと考えておりますので、この2本が平成31年度が目玉事業というふうに考えております。

あと、新規事業につきましては、10番「サークル立ち上げ講座」です。どこの公民館もそうだと思いますが、うちは特に高齢者地域で高齢者の方が増えている状況を踏まえて、今サークル自体が少しずつ減ってきているのが見えますので、できればサークル化につながるようにいろいろ工夫して、サークル立ち上げ講座というものを考えました。

それと、11番「ちょっと大人のほろ酔い講座」、こちらはジャズの音色を聞きながら大人の雰囲気を出して、お酒は本当にテイストする程度ですが、そういったものを楽しみながら交流を図れる事業ができればいいなと考えております。

それと、15番の「夏休みこども陶芸教室」、こちらは子供向けの陶芸教室として、新しく先生を今探している状況ですが、考えております。

それと、32番「チターコンサート」です。こちらはチターという弦楽器のコンサートをやっていただけるドイツの方がいらっしゃいまして、その方をお願いしようかなと、東図書館との共催によって考えております。

ほかの事業に関しましては、30年度とほとんど一緒ですので割愛させていただきますが、平成31年度の変更点としまして、うちのすぐ近くに習志野台の地区社協がございましたが、こちらが建物の耐震補強がされていないということで立ち退きを命じられて、この4月から地区社協が移転することになりました。そこで活動していた団体やサークル的なものが今度うちの公民館を使わせていただけないかということで話が来ておりますので、その変わることにしましては、次の公運審のほうでご説明させていただきたいと思っております。

簡単ではありますが、以上になります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、飯山満公民館さん、お願いします。

○飯山満公民館長

平成 31 年度飯山満公民館経営方針及び重点目標、年間事業計画について、ご説明させていただきます。

まず、1 番の地域の状況につきましては、飯山満地区にごございます日本最古の動物儀礼跡が発見されました取掛西貝塚や、近隣にごございます寺院・神社など、歴史的にも貴重な地域ということを加えさせていただきました。

それから、2 番の経営方針につきましては、平成 30 年度と特に変更はございません。生涯学習の地域の拠点として地域住民、関係機関との連携を密にし、ニーズに適応した生涯学習事業を行ってまいります。

3 番の重点目標につきましても、変更はございません。(1) 番と(6) 番以外の(2) 番から(5) 番につきましては、事業を決定して行く上で、この重点目標に沿うように考えてまいります。

(1) 番で、地域住民が幅広く気軽に集うことができる親しみやすい公民館づくりにより一層努めるということで、公民館は高齢者の利用が多く、飯山満公民館は児童ホームも離れたところにごございますので、なかなか子供たちが遊びに来るということはないのですが、中学校、小学校が近くにごございますので、先日も小学生が家の鍵を忘れてしまって、誰も家にいなかったのが困って、公民館に来てお迎えを待つとか、あとは、中学生が、目の前に中学校はあるのですが、学校に行けずに「おはようございます」と言って公民館に来て、そしてお話を聞いて、最終的には校長室だったら行けるからということで学校のほうに連れていくとか、そういう役割も果たせるような、幅広く気軽に集うことができる、そういう公民館を重点目標として掲げておりますので、こういうことがあって目標が達成できているのかなというところでございます。

それから、(6) 番は、施設の計画的な管理運営を図るということで、避難所にも指定されておりますが、建物も古くなっております。できることから順に修繕などを加えていきたいと思っております。

それから、4 番のスローガンですが、これはちょっと長いので 31 年度はどうしようかと職員とも話したのですが、やっぱりこれが基本だからということで、同じスローガンとさせていただきます。“来てみたら結構楽しい！飯山満では「元気な挨拶」「とびきり笑顔」が溢れてる”、一度来てみていただくと楽しいところだということがわかっていただけないかということで、引き続きこちらのスローガンにさせていただきます。

続きまして、平成 31 年度の飯山満公民館の事業計画でございしますが、こちらは新規事業を中心に主な事業についてご説明させていただきます。

まず、新規事業でございしますが、全部で 5 事業でございます。「○」が小さくて申しわけありません。まず、4 番の「スケッチ講座(スケッチの夕べ)」となっております。これは、スケッチの手法を学び、夕暮れどきの公民館周辺の景色を描いていただきます。

土曜日の夕方5時から7時までの時間帯を予定しており、どなたでもご参加できる講座となっております。

それから、23番「男の料理教室」は、ふだん公民館になじみのない60歳未満の男性を対象に、簡単においしくできる料理教室を予定しておりまして、詳細につきましてはこれから詰めてまいりたいと思います。

それから、31番「季節の園芸（小さな花の世界）」は、ハーバリウム、テラリウム、リースなど、季節の花を使った講座でございます。若い女性に人気の内容となっておりますので、こちらもふだんなじみのない年齢層の方にご参加していただきたい講座でございます。

それから、35番「ロコモティブシンドローム予防教室」と36番「シルバーリハビリ体操普及事業」は、いずれも健康づくり課との共催事業でございます。先ほど金子館長のほうから、シルバーリハビリ体操教室につきましては、公民館26館全館で共催で実施しておりますということでしたが、飯山満公民館は平成30年度、共催事業ではなく場所貸しだけでさせていただきまして、31年度から共催事業ということで一緒に取り組んでいく予定でございます。65歳以上の方を対象に、健康づくり、介護予防のための体操や運動を行って、健康寿命を延ばそうというものでございます。

次に、目玉事業でございます。戻りまして3番「はさまいき塾」は、「地域を知り、地域に学び、地域に生かす」を目的に、平成20年度より生涯学習コーディネーターの皆様にご協力いただき実施しております。平成31年度は昨年度に引き続き、「ふなばしの縄文時代」第2弾を「貝塚から縄文時代を探る」と題しまして、今年度が最後の発掘調査となります取掛西貝塚のその後や加曽利貝塚の見学など、貝塚に焦点を絞り、全4回で実施する予定でございます。

このほか、昨年度新規事業として実施いたしました1番の「読書感想文の書き方教室」でございますが、昨年度は時間不足など中途半端となってしまったため、今年度は西図書館では図書館探検をしないで本の選び方に重点を置き、その後の読書感想文の書き方につきましては2回実施することといたしました。また、市立船橋高校非常勤特別講師で読書感想文の推進に力を入れていただいております深川和枝先生を講師にお招きして31年度は実施する予定でございます。

そのほかの学社連携事業といたしましては、12番「ハッピーサタデー事業」、17番・18番の「職業講演会」、19番「はさま子供まつり」、21番「書き初め教室」を実施いたします。

また、サークル育成事業といたしましては、13番「夏休み卓球教室」、34番「ゆかた着付け教室」、37番「はさまミニコンサート」を社会教育関係団体のサークルにより実施いたします。日ごろの活動の成果を発表できる場の提供となる事業でございます。

飯山満公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

どうもありがとうございます。

最後に、薬円台公民館さん、お願いします。

○薬円台公民館長

それでは、薬円台公民館の31年度事業計画（案）につきましてご説明いたします。

まず、経営方針でございます。昨年と少し変更いたしました。船橋市総合計画後期基本計画などの各種計画に基づくことは30年度と同様です。昨年は青少年教育と家庭教育の充実を経営方針に書き入れましたが、今年度は運営審議会の意見などを取り入れることを明記いたしました。青少年教育、家庭教育は、重点目標に従来どおり明記しております。

次に、重点目標です。重点目標についても少し変更いたしました。

(1)の「笑顔の挨拶を心がけることで、地域住民に親しまれる公民館を目指すと同時に、信頼され安心して利用できる公民館となるよう適正な事務執行を徹底する。」を、新規に明記いたしました。この重点目標は東部公民館を含めた4館を参考にしました。さらに、コンプライアンスを徹底しなければ地域の信頼を得ることはできないとスタッフ全員で考え、納得し、明記したものでございます。

(2)から(7)については、昨年の重点目標をほぼ踏襲してございます。内容に大きな変更はありません。(2)は青少年の育成について各種団体と連携すること、(3)は子育て世代を対象とした事業についてのこと、(4)は多様な学習ニーズに応えられるように地域の方と協力・協働していくこと、(5)はスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会を地域の方とともにつくること、(6)は施設機能の維持を図ること、(7)は広報を積極的に行い、公民館活動の理解を深めていくということでございます。

次に、スローガンですが、これは今年度のスローガンと同一で、変更はありません。「やりたいこと、見つかる薬円台」ということで、私ども薬円台公民館ではさまざまなサークルが活動しております。地域の方の学習意欲、地域デビューに貢献するためのスローガンといたしました。

次に、一覧表（案）でございます。こちらは新規事業を中心にご説明いたします。

まず、①の「スケッチ講座」は新規事業です。30年度は「字手紙教室」を実施いたしました。指導者は、飯山満公民館の清宮館長もご存じで、今年度の合同事業の指導者でもいらっしゃいます。この趣味的講座は毎年内容を変えて実施しています。30年度の「字手紙教室」は残念ながらサークル化にはなりませんでしたが、来年度の「スケッチ講座」はぜひサークル化につながればと考えています。

④の「日本の食と文化を考える」については、コーディネーター共催の事業でございます。30年度は「狛犬の話と神社散策」を実施いたしました。三田公民館で説明されて

いましたけれども、私どもも同様に、日本の発酵食品についてその事業者を招く計画でございます。三田公民館におくれをとってしまいました、私どもはまだ具体的な事業者は未定でございます。

⑤の「ポールポールウォーキング講座」は、手軽にできる全身運動で、健康寿命の延伸につながればと考えています。指導者は東部公民館でも活動中と聞いております。介護が必要になる前にポールウォーキングを習慣にいただければと考えて、対象は成人、土曜日の実施を計画しています。もちろん高齢者の参加も大歓迎です。天候にもよりますが、薬円台公園にも足を延ばしていこうと思案中でございます。

⑭の「粘土で干支をつくろう」は、季節的な行事として取り入れました。こちら指を動かしながらの作業のため、認知症予防も視野に入れております。指導の先生もリハビリについて造詣の深い指導者でございます。こちら飯山満公民館の清宮館長のご存じの指導者でございます。

⑮の「ボイストレーニング」は、福寿大学のアンケートに記入されていた内容で、成人対象として実施を予定しております。もちろん高齢者の参加も受け入れる予定です。このボイストレーニングも腹式呼吸を取り入れているとのことで、健康寿命延伸につながるものと考えています。

⑤の「ポールウォーキング」、⑭の「粘土で干支をつくろう」、⑮の「ボイストレーニング」については、健康寿命の延伸につながると同時に、サークルにつながればと期待しております。

⑳の「スマートフォン講習会」は、30年度計画したにもかかわらず、実施ができなかった事業でございます。31年度は早々と携帯電話会社に連絡し、11月の予約をいただいております。高齢者対象と考えています。

次に、32の「ミニ展示会」も、今年度初めて計画に取り入れられました。薬円台公民館には2階のロビーの壁に展示室があります。幅3メートル10センチ、高さ1メートル90センチ、奥行きが1メートル40センチのガラス張りの展示室です。パネルであれば縦に並べれば2枚、長机でも1台置くことができます。今まで1つ、2つのサークルのみの利用でほとんど使われていない状態であったものですから、来年度31年度は、社会教育関係団体の説明会等で積極的にPRして、たくさんのサークルに発表の場を提供していきたいと考えています。

なお、廃止した事業についてご説明いたします。学級・講座につきましては、「字手紙教室」「狛犬の話と神社散策」「ワイン講座」「DIY講座」「『チバニアン』について学ぶ」等の事業を廃止いたしました。集会活動では、社会教育課共催の「子供の自習スペース提供事業」、こちらはフリースペースとして形を変えて1年を通して実施することとして、社会教育課から連絡を受けています。もう一つ、「ロコモティブシンドローム予防教室」についても、共催の健康づくり課から薬円台公民館では中止の連絡を受

けています。実施場所を絞るとのことでございます。もう一つ、学社連携の「薬園台を知ろう」については、計画には載せられないものの、リニューアルされた郷土資料館がその担い手となって、地域の子供たちに、ふるさと船橋を大切にする教育をしていただけるものと安心しています。

最後に、「やくえんだい楽学講座」や「やくえんだい福寿大学」「薬園台小学校PTA家庭教育セミナー」「本館家庭教育セミナー」等については、企画委員とともに対象者に合った内容を厳選して、よりよい学習の場を提供していきたいと考えています。

なお、最後に2点だけ。No.32の「ミニ展示会」ですが、新規事業のため番号に「〇」をお願いします。もう一点、目玉事業については記載のとおりNo.1の「クラブ活動支援事業」です。報告の際にもご説明いたしましたが、和太鼓を打ったことのない子供たちに和太鼓を体験してもらおうと、私ども薬園台公民館の社会教育関係団体が薬園台小学校のクラブ活動の時間に指導者として参加しています。和太鼓を体験させることも大事なことです。礼儀、物を大切にする心を育ていきたいと、指導者である社会教育関係団体の代表と打ち合わせ済みでございます。30年度は集会活動として実施いたしましたが、31年度はシリーズで完結する事業のため、学級講座のカテゴリーに入れました。

以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

5公民館さんから31年度の経営方針及び重点目標並びに年間事業計画をご説明いただきました。委員の皆さんから何かご意見があればお願いをいたします。

○加瀬委員

補足ですけれども、東部の館長さんから千葉工大の学生さんが来ると。実は前原地区社協も毎月ミニデイサービスをやっているのですが、年に3回、手芸部の学生さんに来ていただいて、お年寄りと一緒に折り紙を折ったりするのに協力してもらっています。

近くに若い子来ると、お年寄りも目つきが変わってくるんです。結構しゃべるんですね。おとといも男の子が7、8人いたのかな。

○大塚委員

いいですね、孫みたいな人と話ができて。

○加瀬委員

本当に孫ですよ。

○大塚委員長

ありがとうございます。

ほかにどうでしょうか。

計画なので、皆さんが一生懸命やっつけらっしゃるので我々がこれに対してどうのこうのというのはありませんけれども、ご意見があればと思います。

実は5日前に頂戴して見させていただいたのですが、きょう皆さんからお話があったように、目玉事業はおおむね1つずつ、皆さん大体わかっているのですが、一番初めに運審で諮問があったときに目玉事業で継続してやってきたということで、大変なつかしいなと思っています。

今回調べてみましたら、5公民館さんの事業を全部足すと203事業を実施すると書いてあります。年間で40事業、40事業であっても1事業1個ではなくて10回連続もあれば3回連続もあるということで、以前に比べると職員の皆さんの数が少なくなっているにもかかわらず事業が平行的になっているという大変忙しいというか、なかなか考える時間がないというところもあるかと思います。また、5館の学級・講座で9事業、集会事業で12事業ということで、21事業が新規の事業ということになっています。全体から見ると約1割を超える11%ぐらいの割合になっている。新しい事業も時代に応じてできているなということで、皆さんが真摯に取り組んでいただいているというのが大変よくわかります。

○牧野委員

ここの5つの公民館だけではなくて、ほかの公民館へ行っても、本当に船橋の公民館っていろんな公民館があって、おもしろいなと思うんですね。大きな劇場のあるところもあるし、小学校のあるところもあるし、それぞれに個性があっておもしろいなと思うので、公民館ってこんなにおもしろいんだよというようなことを広報で……。

特集というか、別紙の特別号で全部の紹介をしていただけるようなことがあると、今一番来ていない高齢の男の方なんかにも、もうちょっと「へえ」と思っただけのものではないかと思ったりします。

○大塚委員長

牧野さん、それをちょっと簡単に書いてまとめて頂けないですか。東部公民館の意見として提案しましょう。

○東部公民館長

三澤部長もそうでしょうし、あとは、広報課が主たる課になりますので、市長公室にも話を持っていきながら。現市長さんも昔は広報課の職員として、その辺は十分理解いただけると思いますので、そのときは。

○大塚委員長

そういうことは必要なことだと思うんです。そういう意味では、やっぱり皆さんの力が必要なので、要請があって初めて最前線が戦えるわけですから、庁内から見てやっぱりやっていると思われるような、一つでもいいからPRする必要があるんですよ。表もそうだけど中に。それには、やるべきことをやっていきませんか。

○東部公民館長

よろしくお願いします。

○大塚委員長

やっぱりいいことはいいことで、やるべきだと思いますから。

○牧野委員

隣のN市の公民館へ行ったことがあるんですけど、大分違いますね。

○大塚委員長

どう違いますか。

○牧野委員

まず、3、4階建てでもエレベーターがないというところから始まり、やはりそれぞれ違うんだなと思いました。

○大塚委員長

私、野田市の公民館に行ったことがあるんです。何もしないで、「実はここでこういうことを知りたいんだけど」と言ったら、職員さんが地図を持ってきて、ここはこうなっていますよと、ものすごくサービスというのか、初めての人に対しても同じように説明してくれて、資料もコピーをとって「ここですから」と。公民館の人というのは、こういうふうな親切さと思いやりがあるんだなと、そのときに大変感動しました。千葉県勉強会みたいなものがあって、たまたま僕が講師で行ったときに、その話をさせてもらったのですが、やっぱりみんなやさしいんですよ。でも、やさしいだけではだめで、言うべきことは言わなきゃいけないので、よろしくお願いします。

ありがとうございました。

それでは、審議（2）と審議（3）、平成31年度経営方針及び重点目標と年間事業についてお諮りをしたいと思います。両方に関して承認を了承いただけます方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

○大塚委員長

第2号議案と第3号議案は全会一致で了承いただきました。ありがとうございました。

それでは、本日の審議は全て終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。よろしくお願いします。

○事務局（東部公民館長補佐）

長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。また、1年間を通して公民館運営にご尽力いただき、重ねて御礼いたします。

これをもちまして、平成30年度第5回東部公民館運営審議会を閉会いたします。

午後5時24分閉会

平成 年 月 日

議事録署名人 _____ 印